

DVD解説

【テーマ：外国人】

題 名	保管	概 要
外国人と人権 違いを認め、共に生きる	人権 33分 2016	日本を訪れる外国人も、日本で暮らす外国人も年々増えている中、外国人の人権に関わる様々な問題が起きています。外国人に対する偏見や差別をなくし、お互いの文化を受け入れ共存していくには…。3つのオムニバスドラマと解説から学びます。
 言葉があるから・・・	人権 31分 2023	「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために…。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。
サラーマット ～あなたの言葉で～	人権 36分 2019	この作品の主人公珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じています。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。
 シェアしてみたら わかったこと	人権 46分 2024	上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち…。私が、シェアしてみたらわかったこと。 ・外国人に関する人権 ・性自認や性的指向に関する人権 ・外から見えにくい障害のある人の人権 ・災害時の人権
虹のきずな (アニメ・字幕・副音声) 	人権 31分 2012	小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしている大学生のひかりは、いつも独りぼっちでいる男の子、ワン・タオロンと出会う。中国からやってきたタオロンは、下手な日本語を笑われるのが嫌で、同級生になかなか話しかけられずにいたが、そんな態度が誤解を生み、いじめられるようになっていました。そんなある日、ひかりは絵本を読んで泣いているタオロンに気づきます。このアニメでは、タオロンをいじめる子どもたちの様子や絵本のお話を通して、差別に対する「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当て、様々な問題を自分の問題として考えること、人と人とがしっかりとコミュニケーションをとること、自立した考えや行動をとることの大切さを学びます。

DVD解説

【テーマ：外国人】

題 名	保管	概 要
日常の人権 II ～気づきから行動へ～	人権 23分 2009	日常生活の中でいつの間にか身につけてしまった差別や偏見。今一度それを見直してみませんか。人が人として大切にされる権利、人権を考えることなくよりよい社会を作ることとはできません。人権感覚に疎い人の言葉や態度が差別を生みます。そして人権を侵害されて苦しんでいる人の心の痛みを分かろうとしないことで、新たな人権侵害が起こります。まず身近な問題から人権について考える作品です。 この作品は、「外国人の人権」「しょうがい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」についてドラマとドキュメンタリーにより構成されています。まず、ドラマパートでテーマごとに、日常にある偏見について気づきを促します。そして、どのような考え方や行動が、偏見をなくし、ともに生きるよりよい社会へ変えていけるかを考えていくきっかけになる作品です。
響け大地に、人の心に (字幕)	人権 湖北 余呉 西浅井 41分 2007	【ドラマ編】(30分) ひかるの父親はブラジル人です。ひかるは小坂を中心としたクラスの子グループから、ブラジル人の子ともというだけで嫌がらせを受けていました。そんなひかるを同じクラスの今日子は助けてあげたいと思いながらも、なかなかうまくは言えませんでした。今日子は、ひかるがお母さんからピアノを習っていることを聞き、ひかるの家で一緒にピアノを習うことを両親に相談します。父親は、ブラジル人の家でピアノを習うことに良い顔をしませんでした。母親の説得により、今日子がピアノを習うことに理解を示し、今日子のピアノ通いが始まりしました。しばらくして、学校で音楽発表会をすることになり、ひかると今日子は思い切ってピアノの演奏に立候補します。一生懸命練習する二人ですが、そこに小坂たちの邪魔が入り…。 【解説編】(11分) タレントのアグネス・チャンさんが、人権についての考えや自身の体験談を語り、普段起こっている様々な問題点やお互いが理解しあうことの大切さを解説します。(滋賀県人権施策推進課 企画)
ほんとの空 (字幕・副音声)	人権 36分 2012	私たちは、自分や家族の生活を守るために、誤解や偏見に気づかず、他者を排除したり、傷つけたりしてしまうことがあります。 この物語の主人公・弓枝もそんな一人。いつも空や雲のことを考えていて友だちのいない息子の輝が、原発事故により福島から避難してきた少年・龍太と意気投合し、自宅に招いて夕食をともにします。そのお礼にと龍太の母親からもらった福島産の草木染を、最初は喜んでいた弓枝でしたが、見えない放射能の恐ろしさから捨ててしまいます。その事実を知った輝が家を飛び出した時、初めて自分の犯した過ちに気づいた弓枝。 この事件をきっかけに始まったタイ人夫婦との交流などを通じて、自分の偏見に気づき、お互いを認め合うことによって、人と人とのつながりや絆を深めていく大切さについて学びます。
わっかカフェへようこそ ～ココロまじわる ヨリドコロ～ (字幕・副音声) 	人権 35分 2016	あなたには「心のよりどころ」がありますか？ 忙しい日常に追われて、誰かと「心を交流する」ことを、おろそかにしていませんか？心を通わすことができる…そんな場所がありさえすれば… ・三色団子の向こう側 初めてスマートフォンを持つ中学生が主人公。 ・世代をつなぐ柏餅 高齢者の生きがいと若い世代の交流を描いています。 ・コンパイトウの来た道 日本に住む外国人とどう向き合かなげかけます。 インターネットと人権・高齢者の人権・外国人の人権の3つのテーマが収録されています。